

# 平成31年度 施政方針

平成31年かすみがうら市議会第1回定例会において、坪井市長が平成31年度の市政運営に対する施策概要を述べました。今回は、平成31年度におけるまちづくりへの主な取り組みを紹介します。

図 政策経営課(千代田庁舎)

## 平成31年度の重点事業

- ◆子育て世代を支えるまちづくり
  - ・小学校入学祝い品として、新たにランドセルを贈呈
  - ・中学生以下医療費実質完全無料化
  - ◆子どもたちが誇りの持てるまちづくり
- ◆千代田中学校区統合小学校の整備
- ◆健康で長生きできるまちづくり
  - ・複合型健康福祉拠点施設「ウエルネスプラザ」の整備
- ◆将来を見据えた未来投資戦略
  - ・石岡・かすみがうら広域幹線道路、「歩崎公園湖岸桟橋」の整備
  - ・「スマートーC整備」の推進
  - ・新たなバス路線「千代田神立ライン」の運行開始に向けた準備
- ◆元氣なかすみがうらを実現するため
  - ・積極的な企業誘致の推進
  - ・6次産業化の推進
  - ・農商工連携の支援をはじめとした地域創生総合戦略に位置づけた事業の推進
- ◆自然の恵みを楽しめるまちづくり
  - ・自然の保全と地域資源の有効活用

## 雨水排水対策

宅地化の進行や近年の局地的豪雨による浸水・冠水被害の対策については、水路や管路の対策を講じ、市民の安全・安心なまちづくりに取り組んでいきます。

## ごみ処理対策

引き続き関係自治体との広域事業による新たな処理施設の整備を着実に進めていくとともに、ごみ減量化・分別によるリサイクルの啓発を行いながら環境への負荷が少ない循環型社会の形成を目指していきます。

## 産業の振興で活力あるまちづくり

### 有害鳥獣被害対策

国や県の制度を活用し、猟友会による捕獲活動や地域における被害防止対策の拡充を図り、近隣自治体と相互に連携協力を図りながら、有害鳥獣被害対策に取り組めます。また、わな猟免許の取得に係る費用に対する助成をさらに拡充し、捕獲強化を図っていくとともに、被害防止対策として新たに電気柵などによる耕作地への侵入防止施設の設置を支援します。

### 地域活性化DMO推進事業

地域活性化DMO推進事業による農水産品の付加価値化に積極的に取り組んでいきます。さらに、市内の農水産物およびそれらを活用した加工品を県外または海外へ販路の拡大を図るため、積極的に取り組む



生産者や本市の地域経済を牽引していく事業者の成長を支援し、「稼ぐ地域づくり」を目指していきます。

また、地域ブランド「湖山の宝」をはじめ、地域アグリビジネスの6次産業化や農商工連携についても、新たな価値と地域力の創出を促進し、地域産業の収益向上を目指します。

### 歩崎地域観光振興

民間活力と連携を図りながらアクションプランに基づく体験型イベントを開催し、歩崎地域を多様な魅力や価値を有する成熟した観光地域として発展させていきます。

また、歩崎地域における観光資源の魅力向上を図るため、水辺のアクティビティとして活用できる多機能な桟橋の整備や市水族館を大規模改修し、さらなる観光関連施設の充実を図っていきます。

## 安全で快適に暮らせるまちづくり

### 神立駅周辺整備

都市計画マスタープランの改定と立地適正化計画の策定に引き続き取り組み、コンパクトなまちづくりを推進し、居住機能や医療・福祉などの都市機能の整備方針の検討を進めていくとともに、公共交通の充実を図ります。

### かすみがうら子どもミライ学習

子どもたちの将来の帰郷や定住への後押しとなることを目指し、愛郷教育とキャリア教育を組み合わせた学習プログラム「かすみがうら子どもミライ学習」を引き続き実施し、郷土を愛し誇りに思ふ心を育み、未来のまちづくりを考えることができる人材を育成していきます。

### 企業誘致の推進

本市の魅力ある地域資源や首都圏に近い立地条件などを生かして、新たな企業の誘致や拠点化を促すなど、積極的な企業誘致を推進し、就業機会の確保に努めていきます。

## 豊かな学び創造のまちづくり

### 小学校統合と学校施設の整備

千代田中学校区の小学校統合については、「千代田中学校区統合小学校整備基本計画」に基づき、現千代田中学校施設を増改築し、平成34年度の開校を目指して整備を進めていきます。また、下稻吉中学校の体育館整備については、避難所としての機能を備えた新たな体育館の整備に着手します。

### 入学祝い品(ランドセル)の贈呈

平成32年4月に市内小学校に入学する児童を対象に入学祝い品として、ランドセル贈呈を開始し、子育て世代の経済的負担の軽減を図っていきます。

### いきいき次世代ゆめ団体の開催

市実行委員会を中心に本市を会場に開催されます。テニスストレーションスポーツ種目のグラウンド・ゴルフとペタンクの2競技につきまして、その開催準備に万全を期し、本市での開催を成功させます。

## みんなでつくる連携と協働のまちづくり

### まちづくりイベントの活用

市民協働をテーマに取り組み市民団体や特定非営利法人によるまちづくり活動を積極的に支援していきます。多くの市民がまちづくりの担い手として地域の課題に対して自ら行動する機運を高め、市民と行政による協働のまちづくりを推進していきます。

### 公共施設の管理・運営

民間事業者から知恵とアイデアが盛り込まれた提案を募集する民間提案制度の導入に取り組むなど、限られた財源の中で、民間活力の活用などにより行政改革を推進することによって、質の高い行政サービスを提供してまいります。

## 都市基盤整備

常磐自動車道と接続する「仮称・かすみがうらスマートーC」の設置に向けた概略設計などを検討し、国の準備段階調査の採択を目指していきます。

また、国道6号の千代田石岡バイパスの早期事業採択、霞ヶ浦二橋の建設促進についても、近隣自治体と連携しながら引き続き国や県に要望していきます。市道整備については、西成井バイパスを平成31年度内の開通を目指し、整備工事を進めていきます。そのほか、地域間の連絡を円滑にする千代田大橋から県道牛渡・馬場山・土浦線に至る「石岡・かすみがうら広域幹線道路」を広域連携のもと計画的に整備していきます。

## 公共交通対策

平成31年10月からJR神立駅を拠点として本市中心市街地の循環、ならびにJR神立駅と地域の中核病院である土浦協同病院を結ぶ新たなバス路線「千代田神立ライン」の運行開始に向け準備を進めていきます。

## 防災対策

市民の防災や減災意識の醸成と地域防災力の向上を図るため、行政組織などによる自主防災組織の形成を促進するとともに、土砂警戒区域などの危険個所や避難に必要な防災情報などを盛り込んだ総合防災マップを全世帯に配付し、地域に根差した防災体制の構築を図っていきます。さらに、本市の住宅密集地域の防災機能を高めるため、

## 健康で思いやいをもち喜ばせるまちづくり

### 中学生以下医療費実質完全無料化

平成31年10月から中学生以下の外来自己負担と入院自己負担の助成範囲を拡大し、さらに所得制限を撤廃することで、医療費を実質完全無料化し、より子育てしやすい環境づくりを推進していきます。

### 産前・産後ケアの支援

安心して出産し、子育てができるよう、とりわけ不安感が高まる産前・産後について、妊娠初期から産後にかけて継続的にさまざまな相談に対応するため、助産師や公認心理師などの資格を有する母子保健相談員を配置し、妊娠期から子育て期にわたって切れ目のない支援の充実を図ります。

## 総合的な健康づくり事業の推進

市民の皆さんに参加、体験していただく「健康まつり」の開催のほか、本市と健康づくりに関する協定を締結している病院や大学とともに、平成31年度からは民間事業者と連携を図り、運動や食育などの健康づくり事業を展開していきます。

また、市民の健康づくりやコミュニティ活動を推進するため、保健・福祉サービスの機能を旧倉小学校施設に集約した複合型健康福祉の拠点施設として「かすみがうら市ウエルネスプラザ」を平成31年度内の完成を目指します。

## 未来を担う若者を育むまちづくり

### 少子化対策

出産祝い贈呈事業を実施して、次代を担う子どもの出産をお祝いするとともに、若者が結婚や子育てに夢を持ち、家庭を築くことができる社会の実現を目指すため、婚活サポートセンターを開設し、総合的な結婚支援事業に取り組めます。

### 子育て支援と保育体制の確保

子どもの健やかな成長と子育てを社会全体で支援する環境づくりをより一層進めるほか、待機児童の解消に向けた保育体制の確保や質の向上が求められていることから、本市においても民間事業者と連携しながら保育士の負担軽減や離職防止につながる支援事業を拡充し、保育体制の充実を図っていきます。

